

# S.E.N.S(特別支援教育士)の会 北海道支部会 2024年度 春期研修会(ハイブリッド開催)開催要項

## 1、趣旨

通常の学級に特別な支援を要する児童生徒が多く在籍していることが指摘されている昨今、各学校において特別支援教育のための体制作りが急務となっています。年度の変わり目のこの時期に、次年度の特別支援教育の推進のために、校内の支援体制作りの実際、また、特別支援教育コーディネーターの役割や資質に関することについて学ぶ機会としたいと思います。

第一部(午前)は、札幌市立信濃中学校まなびの教室の田近健太先生より、昨年末に行った仙台市の学校の通級指導教室(仙台市立八乙女中学校/仙台市立五城中学校/仙台市立七北田小学校)の視察研修で学んだことをご報告いただくとともに、中学校の特別支援教育コーディネーターとしての実践例を発表していただきます。

第二部(午後)は、北海道教育大学釧路校の田中雅子先生より、特別支援教育コーディネーターをはじめとした校内の支援チームのメンバーの支援体制作りに必要なマインドについて、ワークショップを通して参加者が気づきを得る機会をいただきます。

各学校の特別支援教育コーディネーターの方はもちろん、各学校および関係機関等で特別支援教育の推進に携わる全ての方に必要なことをより実践的に学ぶ機会としたいと思います。

## 2、主催 S.E.N.S(特別支援教育士)の会北海道支部会

## 3、後援予定 札幌市教育委員会 小樽市教育委員会 北海道教育委員会

## 4、日時

2025年3月29日(土)

10:00 開会挨拶 講師紹介(入室は9:50~)

10:00~12:00 第一部 講演「仙台市の通級指導教室の視察研修から」

「とある中学校の特別支援教育コーディネーターの実践記録」

講師:田近 健太 先生 札幌市立信濃中学校まなびの教室 S.E.N.S-SV

13:00~16:30 第二部 ワークショップ「特別支援教育コーディネーターは、こうでない!」

ファシリテーター:田中 雅子 先生 北海道教育大学釧路校 准教授 S.E.N.S

## 5、会場 対面会場(北海道教育大学札幌駅前サテライト 教室 1)+オンライン(ZOOM)

※オンラインの方は、第二部ではZOOM上でワークショップにご参加いただきます。

ブレイクアウトルームに分かれ、ビデオ・マイクともONの状態でご参加いただきます。

## 6、参加費 1,000 円

(対面参加の方は受付にてお支払いください。オンライン参加の方は参加確定後に送付する振込先情報を確認いただき、期限内に振込にて入金ください。)

※支部会員の方で、2024年度の年会費(1,000円)を未入金の方は、合計2,000円をお支払いください。なお、次年度の会費は、2025年度の総会以降にお支払いください。

## 7、参加者について

S.E.N.S の会北海道支部会員及び特別支援教育に関心の高い方

対面参加：50名限定

オンライン参加：80名限定 ※いずれも支部会会員を優先いたします。

## 8、お問い合わせと参加申し込み

下記の専用申し込みフォームまでお願いします。スマホからの登録も可能です。

<https://forms.gle/96gcBDC4jpbcbgLvW8>

お名前・ご所属とお立場 連絡先アドレス

LD 学会会員番号 S.E.N.S 登録番号を入力してください。



申し込みフォームでの登録が難しい場合は、同じ内容を以下の連絡先まで送付ください。

S.E.N.S の会北海道支部 事務局 米内山 康嵩 宛

・E-mail [hokkaidosens@gmail.com](mailto:hokkaidosens@gmail.com)

・FAX 0123-27-3743(千歳市教育委員会学校教育課)

※参加の可否について、最終案内とともに後日【3月21日(金)頃】に連絡致します。

参加にあたって必要な持ち物(筆記具・メモ用紙など)等の連絡は最終案内でいたします。

(申し込みの締め切りを3月16日(日)とします。)

## 9、その他

S.E.N.S 有資格者のかたにおかれましては、全日参加されますと更新ポイント2P(特別支援教育士資格更新規定 第2条 IX-1より)が取得できます。

### ～S.E.N.S とは～

「特別支援教育士」「Special Educational Needs Specialist」略称:“S.E.N.S”(センス)は、特別支援教育士資格認定協会が認定する LD・ADHD 等のアセスメントと指導の専門資格です。

特別支援教育士[S.E.N.S]の資格を取得するには、1 一般社団法人日本 LD 学会の正会員であること 2LD・ADHD 等の関連職種に所定の時間以上従事していること等が条件で、その上に、3 協会が主催する養成セミナーを受講して、規定のポイントを修得することが求められます。現カリキュラムでは、概論、アセスメント、指導、特別支援教育士の役割、実習の 5 つの領域から合計 36 ポイントを修得することになっています。

さらに、協会では、特別支援教育士[S.E.N.S]の資格を取得して 2 年以上経過した人の中から、LD・ADHD 等の研究・指導実践に優れている人、各地域で LD・ADHD 等の教育・支援活動の中心となっている人に、「特別支援教育士スーパーバイザー[S.E.N.S-SV]」の資格を授与しています。

協会では、S.E.N.S-SV を、専門家チームの一員として、LD・ADHD 等のアセスメントや個別の指導計画の立案・実施に関して周囲の人たちに指導助言でき、その地域の特別支援教育のリーダーとして十分な実践歴を持つ人材、つまり、特別支援教育の「真のプロフェッショナル」として位置づけています。